

◇崇城大芸術学部美術学科日本画コース展 24日、熊本市中央区のSOJO GALLERYで始まった。来年1月19日まで。学生28人が制作した73点を展示。4年の猿渡果凜さんの「偽生」は、無機質なエンジンにながれた人の手が印象的な作品。日本画のモチーフに多い生き物や植物を、機械に置き換えて「生」を見いだすことを試みた。第10回日展で特選を受賞した大学院2年、川島めぐみさんの「迎へびと」に加え、自画像、鳥の剥製の細密写生、犬や猫、魚を描いた作品などもある。



多彩な作品が並ぶ崇城大芸術学部美術学科日本画コース展

24日、熊本市中央区